



保護者向けガイド

マーガレット・ウィットフィールド

もくじ	ページ
はじめに	2
シリーズ紹介	3
ストーリーの世界	4
教材紹介	5
ストーリーブック	6
フォニックス・ストーリーブック	8
お子様の読書をサポートするには？	10
フォニックスって何だろう？	12
コピー可能な補助教材:	
My Reading Planner (どくしょのけいかくひょう)	13
Letter Flashcards (文字カード)	14
「ドーラといっしょに大冒険」切り抜き	15
「パウ・パトロール」切り抜き	16
「ブレイズ・モンスターマシーン」切り抜き	18
「みんなのウミズーミ」切り抜き	19
My Book Report (どくしょのきろく)	20

© Oxford University Press

Dora the Explorer / Blaze and the Monster Machines / Team Umizoomi: © 2021 Viacom International Inc. All Rights Reserved. Nickelodeon, and all related titles, logos and characters are trademarks of Viacom International Inc.

PAW Patrol: ©Spin Master Ltd. ™PAW PATROL and all related titles, logos, characters; and SPIN MASTER logo are trademarks of Spin Master Ltd. Used under license.



はじめに

保護者の皆様

Reading Starsへようこそ! Reading Starsは、ニコロデオンの人気テレビシリーズ「ドーラといっしょに大冒険」「パウ・パトロール」「ブレイズ・モンスターマシーン」「みんなのウミズーミ」のキャラクターたちが贈る魅力あふれるお話の本シリーズです。



このガイドは、Reading Starsをお子様と一緒に最大限ご活用いただくためのものです。子どもにとって保護者の皆様と一緒に英語の本を読むということは、読書好きへの第一歩を踏み出すきっかけを作るばかりでなく、ひと足早い英語の勉強にもなり、さらに想像力・集中力・共感力を養い、さまざまな分野で学ぶことへの基礎固めにもなります。

Reading Starsのストーリーブックは全部で60冊以上もあり、レベルは3段階に分かれています。レベルごとに、子どもが良く使う言葉やフレーズを中心としたストーリーブックと、文字の形と音が覚えられるフォニックス・ストーリーブックがあります。どのストーリーブックでも基本的な読む力と考える力を養うことができます。

対象年齢は3歳以上です。巻末にはピクチャーディクショナリーと内容理解を深めるアクティビティのページもあります。各話に音声を用意されており、お話を聞きながら正しい発音を身に付けることができます。もちろん、保護者の方が読み聞かせをされてもいいでしょう。

このガイドには、お子様と一緒に楽しめるアクティビティのアイデアやコピーしてパペットが作れる切り抜きページもありますので、人形劇などにぜひご活用ください。

英語がちょっと苦手な方でもご安心ください。専門家のアドバイスを紹介するビデオがありますので、どのようにすればお子さまとともに最高の読書を体験し、学習に役立てることができるのかをご覧ください。このビデオは音声同様、ストーリーブックとフォニックス・ストーリーブックの裏表紙の内側に記載されているアクセスコードを使用してダウンロードしていただけます。

子どもたちが何ができるようになるのか、保護者の皆様の期待は高まることでしょう。しかし、子どもたちが自信を持って英語を使えるようになるまでには時間が必要です。その日まで子どもたちの成長をじっくりと見守りましょう。



シリーズ紹介

Reading Starsのストーリーブックとフォニックス・ストーリーブックは、きっとお子様に気に入っていただけると思います。その理由は、ただ楽しく魅力的であるというだけでなく、いろいろな英語の文型とともに子どもたちが毎日使うわかりやすい言葉を使用しているからです。また、英文を読むために必要な力を身に付けることもできます。文字を理解する力、フォニックスのスキル、英単語やフレーズなどの言語知識、そして文章の内容を理解する力などが身に付きます。本書で学ぶことができるさまざまなスキルを以下にご紹介しますが、子どもの成長のスピードは千差万別ですので、種類によっては定着するのが遅かったり速かったりすることもあります。

Reading Stars 1

できるようになること

- 文字を認識し、音と結び付けて理解できるようになる。
- それぞれの文字が表す音が発音できる。
- 単語の最初の文字の音がわかる。
- 本の中の単語を見つけて、それがいくつかの文字からできていることがわかる。
- 単語は左から右へと読み、単語ごとにスペースで区切られていることを理解する。



便利な英語表現

お子様と一緒に英語の本を読むときに使うと便利な英語の言葉や表現をご紹介します。ただし、日本語も適宜使いましょう。その方が話の内容についてより深く話せることもありますし、理解力を深めたり、読む力をつけたりできるのです。

Choose a book. 本を選んで。

What is it? It's ... / This is ...それは何?それは.../これは...

What color is it?それは何色?

Findを探してみよう。

Sayと言ってみよう。

Colorの色を塗って。

Can you see ...? ...が見えるかな?

How many ... can you see? ...はいくつあるかな?

Let's count. 数えてみよう。

Who's this? これは誰?

Is ... happy? ...はうれしいかな?

Do you like ...? ...は好き?

What's your favorite ...? 好きな...は何?

(Let's) listen / read / look ...

...を聞いてみよう/読んでみよう/見てみよう。

What does this letter / word say?

この文字/言葉は何という?

Can you read this word? この言葉、読める?

Do you want to read the story? このお話、読みたい?

Who do you want to be? 誰になりたい?

Read it with me. 一緒に読んで。

Point to the words. 単語を指さしてみよう。

Let's look at the Picture Dictionary. ピクチャーディクショナリーを見てみよう。

Good job! / Great! / That's right! / Yes! よくできたね!/すごいね!/そのとおり!/そうだね!

Try again. もう一度やってみよう。

Good reading! / Great reading! 上手に読めたね!/すごいね!

Good listening! / Great listening! 上手に聞けたね!/すごいね!

Reading Stars 2

できるようになること

- 文字とそれが表す音を覚える。
- ひとつの単語の中のさまざまな位置にある文字の音がわかるようになる。
- 単語を構成する文字の音をいくつか組み合わせて発音し始める。
- ひとつの単語の中のさまざまな位置にある文字の音がわかるようになる。
- ひとつの単語の中にある文字や、ひとつの文の中にある単語を見分けることができる。

Reading Stars 3

できるようになること

- 2つの文字で表される音を覚える。
- 長い単語が読めるようになる。
- ひとつの単語の中のさまざまな位置にある文字の音がわかるようになる。
- 短い文が読める。



ストーリーの世界

フォニックス・ストーリーブックと一部のストーリーブックには「ドーラと一緒に大冒険」のキャラクターが登場します。

さあ、冒険に出かけましょう！ドーラやおさるのブーツと一緒に彼らの住む地域を探検します。旅の途中で、ドーラたちが困ったときには、お子様と一緒に問題を解決したり、困難を乗り越えたり、お友達の手助けをしたりします。



「パウ・パトロール」のキャラクターが登場するストーリーブックでは、子犬たちが大活躍。アドベンチャー・ベイにトラブル発生とあれば、ライダー（日本版名：ケント）と子犬たちのレスキューチームが駆け付けます。パウ・パトロールはそれぞれの特技を生かしてミッションを遂行します。同時にみんなで力を合わせることの大切さも学びます。



「ブレイズ・モンスターマシーン」では、モンスタートラックのヒーロー、ブレイズとドライバーのAJがアクスル・シティで冒険を繰り広げます。トラブルが発生するや、ブレイズが登場して窮地を救い、レースの勝利をおさめます！キャラクターたちと一緒に、問題解決をしながら、考える力やSTEM (Science, Technology, Engineering, and Math／科学・技術・工学・数学) 分野に関連するスキルも養います。



「みんなのウミズーミ」のストーリーブックでは、キャラクターがウミ・シティで起こるトラブルを数字の力で解決します。「みんなのウミズーミ」の小さなヒーローたちと一緒に、数学の力や考える力、数、図形、長さなどの知識を使って問題を解決していきましょう。





教材紹介

ストーリーブック

ストーリーブックには、お話、ピクチャーディクショナリー、内容理解を深めるアクティビティが掲載されています。



フォニックス・ストーリーブック

フォニックス・ストーリーブックには、お話、ピクチャーディクショナリー、フォニックスのアクティビティが掲載されています。

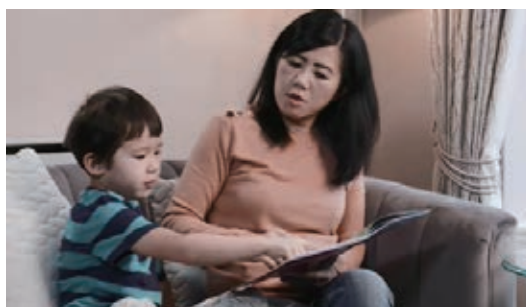


ストーリーブックとフォニックス・ストーリーブックの音声と保護者向けビデオは裏表紙の内側に記載のアクセスコードを使用してダウンロードできます。ウェブサイト：elt.oup.com/parent/readingstars/からもダウンロードできます。

保護者向けビデオ

英語で本を読む子どもたちをどのようにサポートすればよいかをわかりやすく動画でご紹介しています。

How to Read With Your Child – Story Books



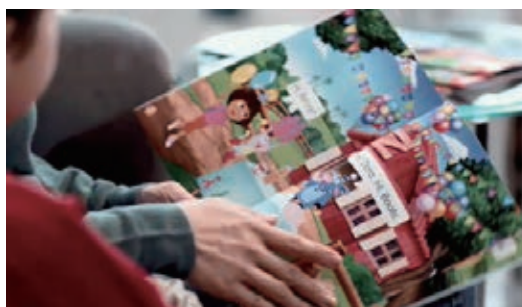
Reading Stars Phonics



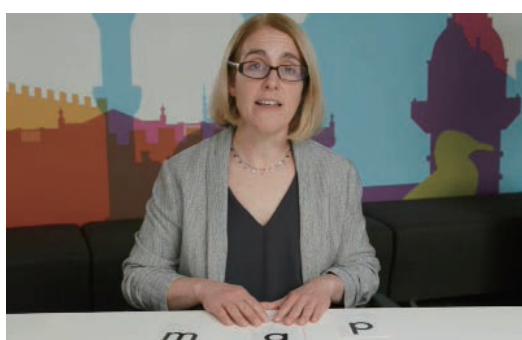
Supporting Your Child's Language Learning



How to Read With Your Child – Phonics Story Books



Phonics Made Simple



音声



それぞれの本の裏表紙の内側に記載されたアクセスコードを使用してお話、ピクチャーディクショナリー、フォニックスアクティビティ（フォニックス・ストーリーブックのみ）の音声ダウンロードできます。



Reading Stars ストーリーブック



Reading Starsのストーリーブックは、ニコロデオンの人気テレビアニメ作品「ドーラといっしょに大冒険」「パウ・パトロール」「ブレイズ・モンスターマシーン」「みんなのウミズーミ」の世界を舞台にした、お子様の年齢に合った楽しいお話ばかりです。

おなじみのキャラクターが安心感を与えます。

カラフルなイラストが子どもたちの目を奪います。

慣れてきたら、お子様と一緒にキャラクターになりきって会話をしてみましょう。

単語や文の量・難易度は、お子様の自信がついてくるにしたがって徐々に増えていきます。

It's a lunchbox.



4



5

ユーモアたっぷりのお話で、読むことの楽しさが体験できます。

絵の中に隠れたお星さまを探してみましょう。

絵を見ながらいろいろなことを話してみましょう。見れば見るほど、話す材料が見つかります。

キャラクターたちが困ったときは子どもたちに助けを求めます。



「パウ・パトロール」は、チームワークや自分の住む町を大切に思う気持ちを描いています。



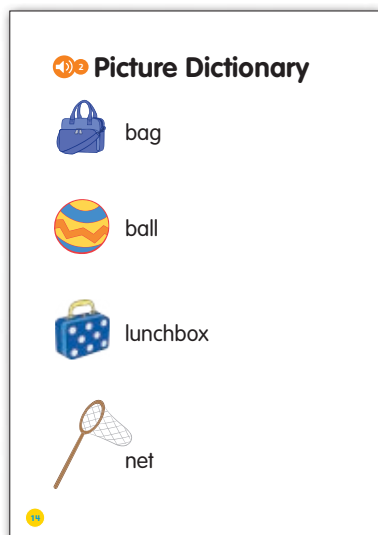
「ブレイズ・モンスターマシーン」は、STEM (Science, Technology, Engineering, and Math/科学・技術・工学・数学)教育をコンセプトにしています。



「みんなのウミズーミ」は数学をテーマにしています。

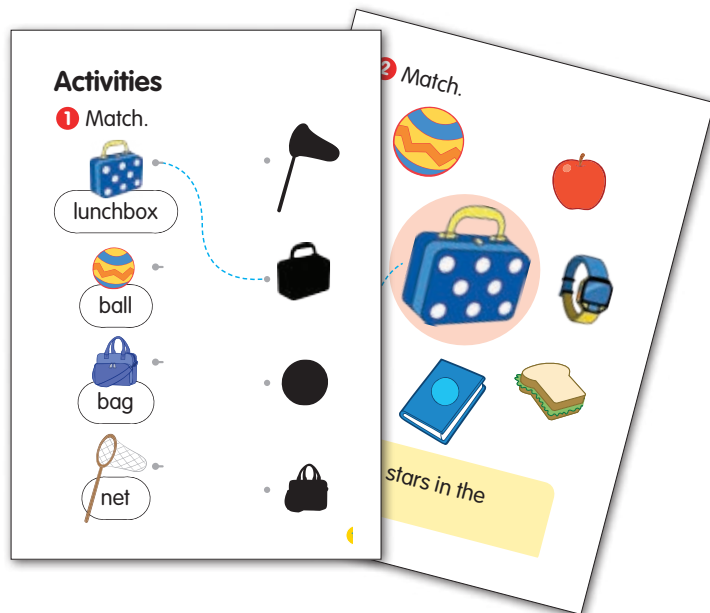
ピクチャーディクショナリー

巻末のピクチャーディクショナリーでは、お話に出てきた単語の意味を確認することができます。本文を読む前に単語を学びたいとき、読んでいる途中で意味を調べたいとき、読み終わって復習したいとき、そしてアクティビティのサポートにと幅広く活用していただけます。



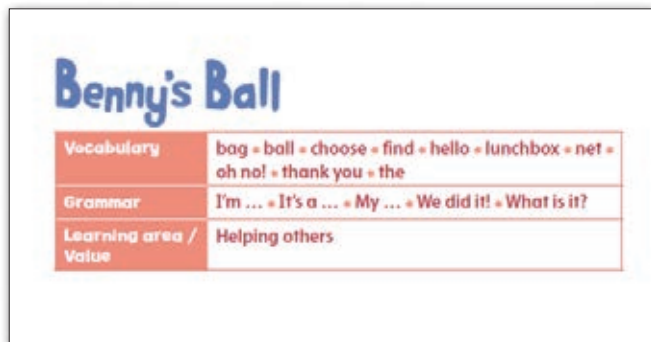
アクティビティ

それぞれの本の巻末には、アクティビティのページもあります。ここでは、読む力や理解力、語彙力を養います。お話に出てきた単語も復習できますので、自信もつくでしょう。



学習内容の一覧

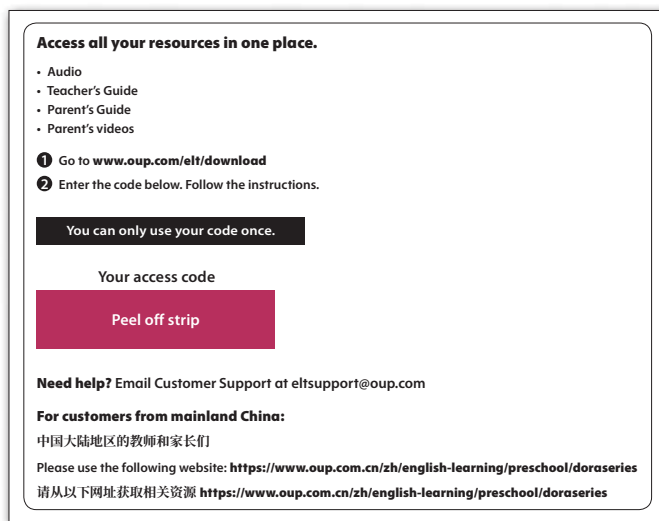
裏表紙の内側には、各話の学習内容が詳しく記載されており、今お子様が何を勉強しているのかが一目でわかるようになっています。



保護者向けビデオ“**How to read with your child**” (子どもと一緒に本を読む方法)をご覧くださいと、お子様と一緒に本を読む際のヒントやアイデアが見つかるかもしれません。このビデオは弊社ウェブサイト、または本の裏表紙内側に記載のコードを利用してダウンロードが可能です。実際にストーリーブックを読む親子の動画もあります。

音声、ビデオ、保護者向けガイド、教師向けガイド

それぞれの本の音声は、スマートフォンやタブレット端末にダウンロードできます (ダウンロード用のコードは裏表紙の内側に記載)。音声は、お話に臨場感を与えるだけでなく、真似をすることで正しい発音やイントネーションを身につけるのに役立ちます。このほか、ビデオや保護者向けガイド、教師向けガイドもダウンロードしていただけます。





フォニックス・ストーリーブック



Level 1

Reading Starsのフォニックス・ストーリーブックは、「ドーラといっしょに大冒険」の世界を舞台にした、お子様の年齢に合った楽しいお話を通して英語の音とスペルを学びます。一冊につき扱うフォニックスの音は6個までです。フォニックスについては、本ガイドの12ページの解説「フォニックスって何だろう?」をお読みください。

フォニックスの音とスペリングのパターンは色分けされています。

お星さまの文字は巻末のアクティビティのページとリンクしています。お子様と一緒にお星さまを探してみましょう。

慣れてきたら、お子様と一緒にキャラクターになりきって会話をしてみましょう。

前に学習したフォニックスの音も復習します。



おなじみのキャラクターのドーラとブーツは各話に登場します。

ユーモアたっぷりのイラストで楽しく学びます。

カラフルなイラストが子どもたちの目を奪います。

キャラクターたちが困ったときは子どもたちに助けを求めます。



レベル1では、アルファベット26文字について、一文字につきひとつの音を学びます。



レベル2では、音を組み合わせる短い単語を読み始めます。



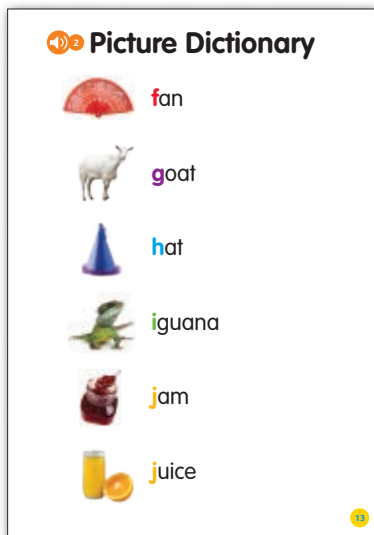
レベル3では、音を組み合わせる短い単語を読むのに加え、さらに多くのスペリングのパターンやフォニックスの音を学びます。



ビデオ“Phonics Made Simple”（幼児のお子様にも分かりやすいフォニックス）はフォニックス学習をサポートします。ビデオのダウンロードは、ストーリーブックとフォニックス・ストーリーブックの裏表紙の内側に記載してあるアクセスコードをご利用ください。

ピクチャーディクショナリー

巻末のピクチャーディクショナリーでは、お話に出てきた単語の意味を確認することができます。本文を読む前に単語を学びたいとき、読んでいる途中で意味を調べたいとき、読み終わって復習したいとき、そしてアクティビティのサポートにと幅広く活用していただけます。



学習内容の一覧

裏表紙の内側には、各話の学習内容が詳しく記載されており、今お様が何を勉強しているのかが一目でわかるようになっています。

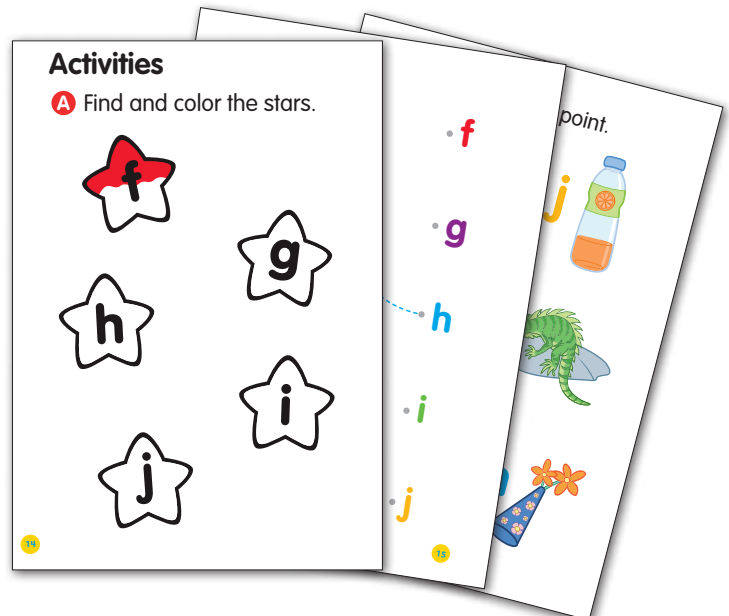
My Hat	
Sounds	Ff • Gg • Hh • Ii • Jj
Vocabulary	fan • goat • hat • iguana • juice • jam
Language	Hi. • Juice and jam. • An iguana. • My hat! • I see a goat. • It's an apple. • A goat and an apple. • Thank you.
Learning area / Value	Helping others



保護者向けビデオ“**How to Read With Your Child**”（子どもと一緒に本を読む方法）をご覧くださいと、お子様と一緒に本を読む際のヒントやアイデアが見つかるかもしれません（このビデオは弊社ウェブサイト、または本の裏表紙内側に記載のコードを利用してダウンロードが可能です）。ビデオには実際にフォニックス・ストーリーブックを読む親子の動画もあります。

アクティビティ

それぞれの本の巻末には、アクティビティのページもあります。ここでは、読む力や理解力、語彙力を養います。お話に出てきた単語も復習できますので、自信もつくでしょう。



音声、ビデオ、保護者向けガイド、教師向けガイド

フォニックス・ストーリーブックの音声も、スマートフォンやタブレット端末にダウンロードできます（ダウンロード用のコードは裏表紙の内側に記載してあります）。お話と同じように、真似をすることで正しい発音やイントネーションを身につけるのに役立ちます。このほか、ビデオや保護者向けガイド、教師向けガイドもダウンロードしていただけます。

Access all your resources in one place.

- Audio
- Teacher's Guide
- Parent's Guide
- Parent's videos

- 1 Go to www.oup.com/elt/download
- 2 Enter the code below. Follow the instructions.

You can only use your code once.

Your access code

Peel off strip

Need help? Email Customer Support at eltsupport@oup.com

For customers from mainland China:

中国大陆地区的教师和家长

Please use the following website: <https://www.oup.com.cn/zh/english-learning/preschool/doraseries>

请从以下网址获取相关资源 <https://www.oup.com.cn/zh/english-learning/preschool/doraseries>



子どもの読書をサポートするには？

子どもと一緒に本を読む

保護者の方と一緒に過ごす読書の時間が楽しいと感じられると、子どもたちは読書に対して積極的になります。読むことが楽しくければ、保護者の方がもっと読もうと励ます必要もほとんどなくなりますし、読むことに自信が持てるようになるために必要な読書習慣もできます。以下、Reading Starsをお子様と楽しむためのヒントをいくつか紹介します。

準備

- **読む時間を決める:** 例えば寝る前とか食事の後など、都合の良い時間を決めて、読書の時間を生活の中に組み込むようにしましょう。そうすれば読むことが習慣になるでしょう。
- **計画表を使う:** 13ページのMy Reading Planner(どくしょのけいかくひょう)を使って、読書の計画を立てましょう。例えば、どの本と一緒に読むか、どんなアクティビティをしたいかを書き込んでみましょう。
- **子どものペースに合わせる:** 初めのうちは、長時間集中することは難しいでしょう。日によってはどうしても落ち着いて読めないという日もあるかもしれません。どうか柔軟に対応してください。毎日決まった量を読まなければならない、などと思う必要はないのですから。
- **音声を活用する:** 音声は子どもたちが発音やイントネーションを覚える際のお手本としてご利用いただけます。
- **音読する:** 子どもは親の真似をするのが大好きです。音読も同じで、保護者の方が声に出して読んでいればお子様も一緒に読むでしょう。完璧な英語でなくてもいいのです。実際のところ、親が失敗をすることを見るのは子どもにとっては大切な学習です。声色を変えたりジェスチャーをつけたりして音読すれば、物語が生き生きとしてくるでしょう。
- **お気に入りの本を何度も読む:** 同じ本を何度でも読みましょう。子どもはよく知っているお話でも毎回楽しむことができます。そのたびに上手に読めるようになったり、新しいことに気がついたりしているのです。

子どもを巻き込む

- **本は子どもに選ばせる:** 子どもに本を選ばせると同じ話を何度も読まなければなりません!でも、子どもたちは自分で選べると思うとやる気も出ますし、実際に繰り返し読むのは素晴らしい学習になります。
- **お話を演じる:** 子どもがひとつの話を覚えると、好きなキャラクターになりきってセリフを言うようになるかもしれません。そんなときは15～19ページの切り抜きを使ってパペットを作り、一緒に演じてみましょう。
- **一緒に音読する:** 子どもがお話を覚えたら、一緒に音読するように促しましょう。子どもたちは自分がよくわからない言葉を抜かして読むことがあります。それは問題ありません。それだけ本文に集中しているということです。でも、保護者とその単語を発音したらきつと耳を傾けるでしょう。次に読むときには、がんばってその言葉を自分で発音しようとすると思います。

- **交互に読む:** 音読に慣れてきたら、ページごとに交互に読んだり、それぞれキャラクターになって読んでみたりしましょう。その際、音読は子どもにとって大変だということをどうぞお忘れなく。音読が苦手な子どももいます。お子様が読むのを嫌がったら、そのまま保護者の方が読んで聞かせてあげてください。
- **だれかに読んであげるように促す:** 読むのに自信がついてきたら、弟や妹、友達、ご祖父母など、誰かに読んであげたいと思うようになるかもしれません。

子どもへのサポート

- **絵を指さす:** お話を理解するのが難しそうなときは、音声を聞く前に絵を見る時間をたっぷりとってあげてください。キャラクターや物の名前を言って絵の中から探してみようと言ってみましょう。そうすれば言葉を理解しているかどうかわかりますし、復習することもできるでしょう。
- **お話と現実を結び付ける:** お話やピクチャーディクショナリーに出てきたものを実際に家の中から探す「借り物競争」をしてみましょう。見つけたものは、本を読むときのヒントにしたり、演じるときの小道具にしてもいいでしょう。
- **同じ話を何度も読んだり聞いたりする:** 子どもたちは読むたびに少しずつ内容を理解していきます。最初から全部わからなくてもいいんだよと言って、すでに読んだお話でも何度でも読んでみましょう。
- **子どもにプレイヤーを使わせる:** 音声を聞いているときに、子どもがわからないという顔をしていたら、プレイヤーの再生や停止を任せてみるのもいいでしょう。そうすれば、わからないときに自分で止めて質問したり、少し戻してもう一度聞くこともできます。ページをめくるタイミングがわかるように、文を目で追うように促しましょう。
- **わからない言葉があるときはピクチャーディクショナリーを活用する:** お子様が言葉の意味がわからないと言ったときは、ピクチャーディクショナリーを見てみようと言ってみましょう。または、お話の中の言葉を指さし、これと同じ言葉がピクチャーディクショナリーにあるかなと聞いてみていいでしょう。
- **じっと待つ:** 大人は簡単だと思うかもしれませんが、読むということは多くの異なるスキルを使って行われるものです。お子様に単語や文を読ませるときや質問に答えさせるときには、考える時間を十分にあげた方がうまくいくことが多いようです。



読む力を養うアクティビティ

一緒に本を読むほかにも、子どもの読む力の向上をサポートする方法はいろいろあります。単語、読み方、フォニックス、考える力などを養うためのアクティビティを紹介します。

言葉の学習

- **ゲームをする:** 「なぞなぞ」のような言葉当てゲームは楽しくて効果的です。例えばある物の絵を描いたり、言葉で説明したり、ジェスチャーで示したりして、英語の言葉を引き出しましょう。
- **絵を描かせる:** 新しく学んだ単語、例えば ball とか bag の絵を描かせます。その絵に英語を添えて壁に貼ってみましょう。たくさん描けたら、自分だけのピクチャーディクショナリーを作ってもいいでしょう。
- **実際に言葉を使う:** 学んだ言葉やフレーズをお話の中とは違う場面を使ってみましょう。例えば、何かを指さして、What is it? Is it green? などのように質問してみます。こうすることで、その言葉がお話の中だけでなく日常生活でも使われている言葉だと気がつきます。

読む力を養う

- **表紙の絵に注目させる:** お話を読み始める前に、表紙の絵やタイトルに注目させましょう。そしてこの本はどんなお話だと思うか聞いてみます。
- **単語や文を指さす:** お話を読んだり聞いたりしているときは、その単語や文を指さしてください。子どもは文字と音の関係に気がつき始めます。お話や文に慣れてきたら、だんだんとこの役割を子どもにやってもらうようにしましょう。
- **お話の内容について質問する:** お話の内容がよくわかったところで、本の中のあるページの絵を見せて、ここはお話の最初か真ん中か最後かを聞いてみます。
- **絵について質問する:** 本の中の絵を見せながら何かを探してみようと言ってみましょう。例えば、ある物や場所、「うれしそうな顔をしている人」などの質問でもいいでしょう。
- **英語と日本語を使い分ける:** 子どもたちには、例えば絵の中の単語を言うときなどはできるだけ英語を使うように促しましょう。ですが、「この後何が起こると思う?」などの質問は日本語を使ってください。その方がよく理解でき、最終的には英語の勉強になるのです。
- **自分の感想を考えさせる:** 読み終わったら、そのお話が気に入ったか、なぜそう思うのかを聞いてみましょう。そして好きな場面や好きなキャラクターを考えてもらいましょう。本ガイド、20ページのMy Book Report (どくしょのきらく) を使って、読み終わった本を記録していくと、達成感につながります。
- **文の理解を深める:** 子どもは文の中に自分が知っている単語を見つけて、それを読むことができると嬉しいものです。そこで、今度は自分が知らない単語を探させてみましょう。そして、その単語の文字や、文の中のほかの単語などから類推して発音させてみるように促します。がんばったときには、ほめるようにします。そして自分の考えをどんどん言わせてあげましょう。

フォニックスの力を養う

- **文字カードを作る:** 読み方を学ぶときに、文字を自由に動かして、本に出ている単語と同じ文字を探させたり、単語を作ったりバラバラにしたりできると、とても便利です。14ページのLetter Flashcardsのページを使って文字カードを作ってみましょう。
- **文字の音で遊ぶ:** 子どもたちは次第に文字の音と形の関係に気がつき始めます。同じ文字で始まる単語や同じ音で終わる単語などを指さして、一緒に言ってみましょう。
- **文字の音の練習:** ある文字の音を言って、その文字で始まる単語を本のページから探すように言います。これができるようになったら、例えば、保護者が[c-a-t]のように簡単な単語の文字を一文字ずつ発音し、子どもはその単語を探して単語全体を発音します。14ページを切り取って作った文字カードを使ってもいいでしょう。
- **フォニックスのスキルを使う:** 一つ一つの文字の音やいくつかの音を結合させた音を発音させてみましょう。文字カード(本ガイドの14ページ)を使って単語を作り、読んでもらってもいいでしょう。最初は「at」のような2語から始め、続いて「hat」のような3語にします。ある単語を聞かせるか音声を再生するかして、その単語の中にある音を言ったり、その音を本文の中から探したりさせてみましょう。文字カードを使って単語を作ってもいいですね。

考える力を養う

- **絵について質問する:** 絵を指さしてそれがどんな場面だと思うか聞いてみましょう。どうしてそう思うのかも聞きます。例えば、パーティの場面なら風船や飾りつけを見てそう思ったのかもしれない。こんなときは日本語を使って、お話についてじっくり話しましょう。
- **絵の細かい部分に注目させる:** 絵を見せながら、何かの数を数えたり、絵合わせをしたり、間違い探しをしたりしましょう。絵の中にはお星さまも隠れています。Reading Starsシリーズの絵は、見れば見るほどいろいろなものが発見できるように構成されています。
- **お話と子ども自身の経験とを関連付ける:** 例えば、お話に出てくる公園とお子様が行ったことがある公園を比べてみましょう。またはお話の家と自分の家を比べてもいいでしょう。このほか、キャラクターをだれか知っている人と結び付けたり、お話の中で起こったことと自分の経験を関連付けて話してもらってもいいでしょう。
- **お話の中で起こったことについて話す:** あのキャラクターはどうしてあんなふうにしたんだろう? ほかにどんな方法があったかな? 結末の違うお話を作ってみましょう。パペットを使ったり絵を描いたりして想像の物語を一緒に演じてみてください。



フォニックスって何だろう？

フォニックスとは何なのか、フォニックスのストーリーブックと普通のストーリーブックは何がちがうのか、そんな疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。フォニックスとは、子どもの英語の読み書きの指導法として世界中で広く用いられているものです。フォニックスではアルファベットの音に注目します。そしてそのひとつひとつの音と文字の関係、次にいくつかの文字が作りだす音も指導していきます。文字によってはいくつかの音を持つものもありますので、フォニックスですべての言葉が読めるようになるわけではありません。しかし、フォニックスの力はパワフルです。なぜならフォニックスを使えば、自分が知っている単語の文字を見て正確に発音できるようになる、知らない単語を読んでみようとする、耳で聞いた言葉を文章の中から探すことができる、そしてどの文字とどの文字を使えば単語が書けるかわかるようになるからです。

フォニックスに必要なスキル

- 子どもたちはまず、アルファベットの文字の名前と形を覚えます。それからそれぞれの文字が持っている「音」を覚えます。
- 文字と音を覚えたら、この力を使って単語を解読 (decode) します。つまり、文の中の単語を音にして発音するのです。最初のごく短い単語から始めます。例えば、「c-a-t」のそれぞれの音をつなげると「cat」と発音できます。このように音をつなげることを結合するまたは混合する (blending) と言います。
- 聞く力も大切です。例えば、「cat」という言葉を聞いたときに、それが「c-a-t」という3つの文字の音からできていることがわかれば、そこに書かれている文字だと認識できるようになります。これを分節する (segmenting) と言います。

こうしたスキルを学ぶのにはたくさんの練習が必要です。フォニックス・ストーリーブックを使えば、子どもたちは楽しく学ぶことができますでしょう。

Reading Starsのフォニックス・ストーリーブックは、子どもたちが効率よく、できる範囲でこのスキルを学べるように考えられています。



- レベル1ではアルファベット26文字の名前と、それぞれの文字の代表的な音を導入します。
- これらの文字は本文の中で強調されていますので、その文字の音がよくわかるでしょう。例えば、「apple」の最初の音の「a」を強調するために「a」の部分に色がついています。音が発音できるようになると、いろいろな単語の最初の音がどんな音なのかわかるようになります。



- レベル2では、レベル1で学んだアルファベットの音を復習してから、「bed, dog, hat」などの短い単語の中にどのような音が組み合わせてあるか見ていきます。このようにすると3文字の単語を発音できるようになります。また、レベル1では単語の最初の音だけでしたが、レベル2では語末や語中の音がどんな音なのかわかるようになってきます。



- レベル3では、2つの文字の組み合わせによって表される音に出会います。例えば、「ee」や「sh」という音や、「tr」や「st」で始まる単語を覚えることで、文字を結合させた音の練習をします。これにより、より多くの単語が読めるようになりますし、長い単語の読み方も自分でわかるようになってきます。

フォニックス・ストーリーブックでは、フォニックスを練習できるさまざまな方法を提案しています。

- ピクチャー・ディクショナリーのページの単語は、発音のお手本が音声に収録されています。これをお子様と一緒に練習する時、できる限り音声の通りに発音してください。例えば、「mmm」の音は「マー」や「ムー」ではありません。子音「m」の後に母音「a」や「u」をつけないようにしましょう。こうすれば、子どもたちはひとつの音だけに集中できますし、後でいくつか音を混合させるときにとっても大切なポイントとなります。
- 復習としてのアクティビティは練習にもなりますし、どのくらい力がついたかの確認にもなります。本ガイドの11ページ『フォニックスの力を養う』では、いろいろなアクティビティを紹介しています。

お子様が自信をもって英語を話せるようになるまでには何年かかかります。それまでどうかじっと見守ってください。



フォニックスについては、ビデオ「Phonics Made Simple」(幼児のお子様にも分かりやすいフォニックス) もご覧ください。各ストーリーブックの裏表紙の内側に記載してあるコードを使ってダウンロードできます。



My Reading Planner どくしょのはいかくひょう

Month _____ 月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

Notes × ㊦



文字カード

このページを厚紙に貼り、切り抜いて文字カードを作りましょう。アルファベットの練習に使います。
文字をワードファイルなどにコピー＆ペーストすれば、大きさを自在に変えることもできます。

a

b

c

d

e

f

g

h

i

j

k

l

m

n

o

p

q

r

s

t

u

v

w

x

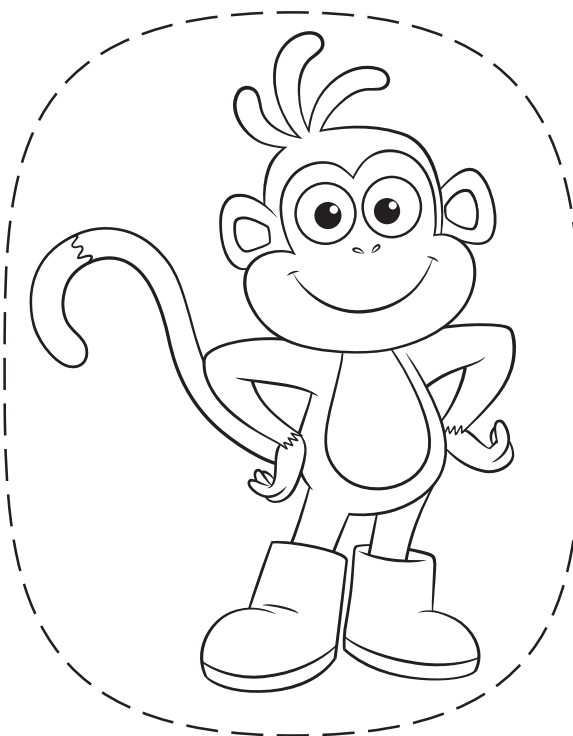
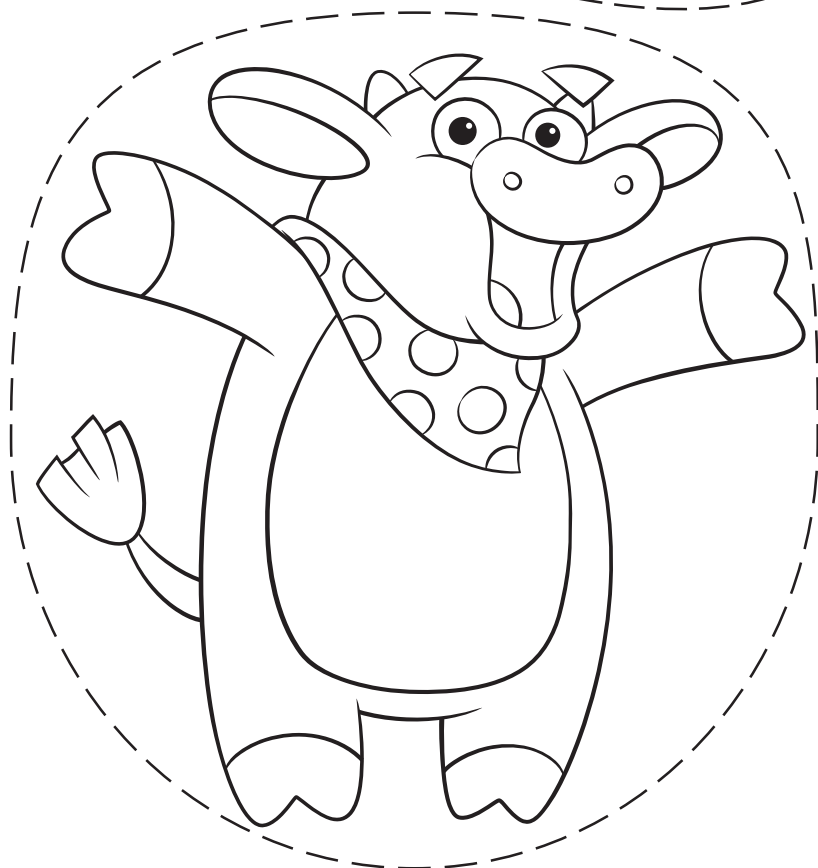
y

z



ドーラといっしょに大冒険 きりぬき

このページを厚紙に貼り、お子様に色を塗ってもらいましょう。キャラクターを切り抜いて、アイスの棒やお箸を取り付けば、人形劇ができます。





nickelodeon

パウ・パトロール きりぬき

このページを厚紙に貼り、お子様に色を塗ってもらいましょう。キャラクターを切り抜いて、アイスの棒やお箸を取り付けば、人形劇ができます。

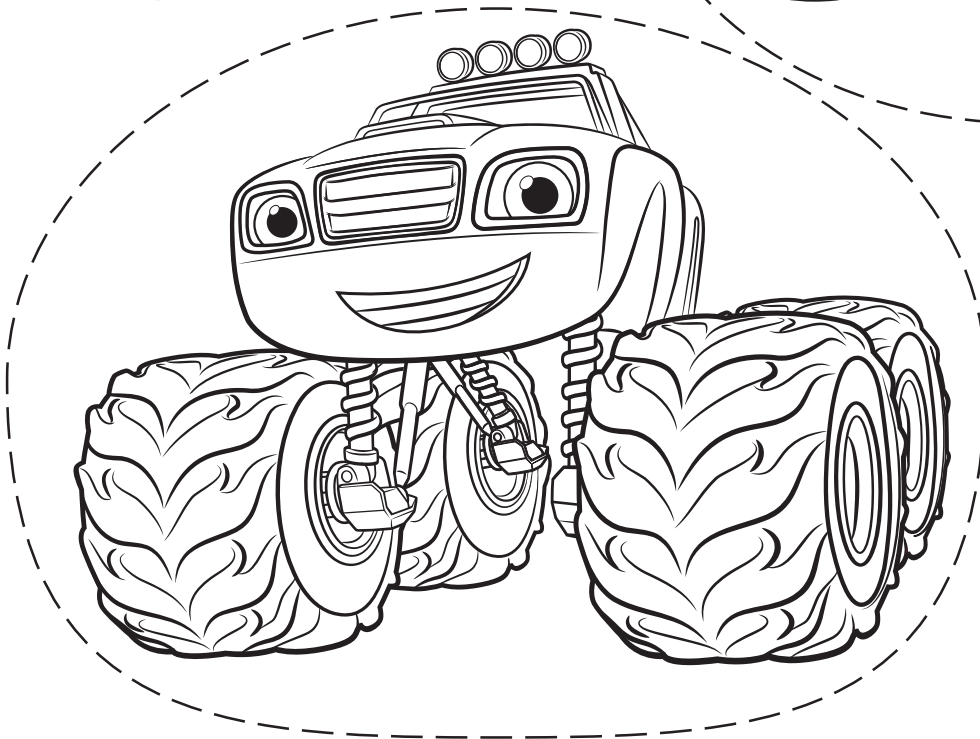
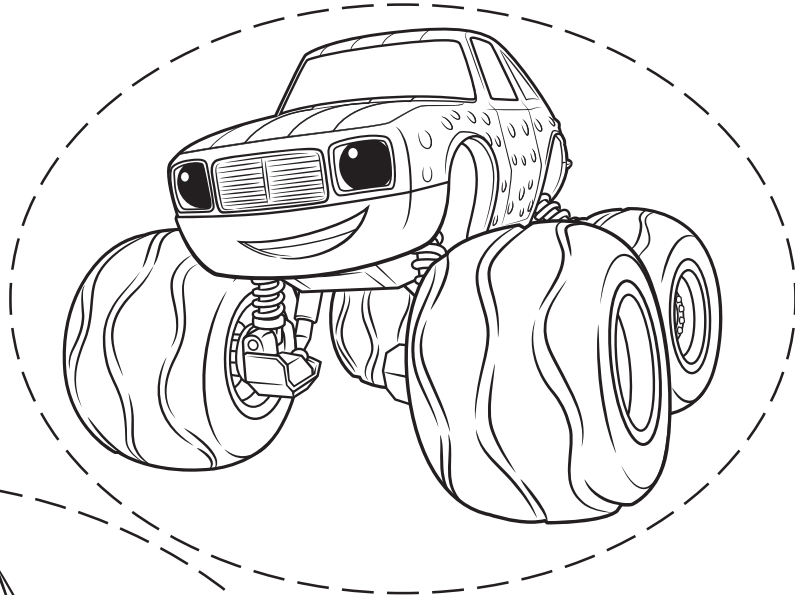
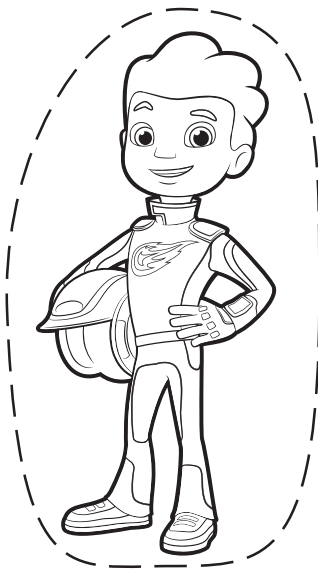
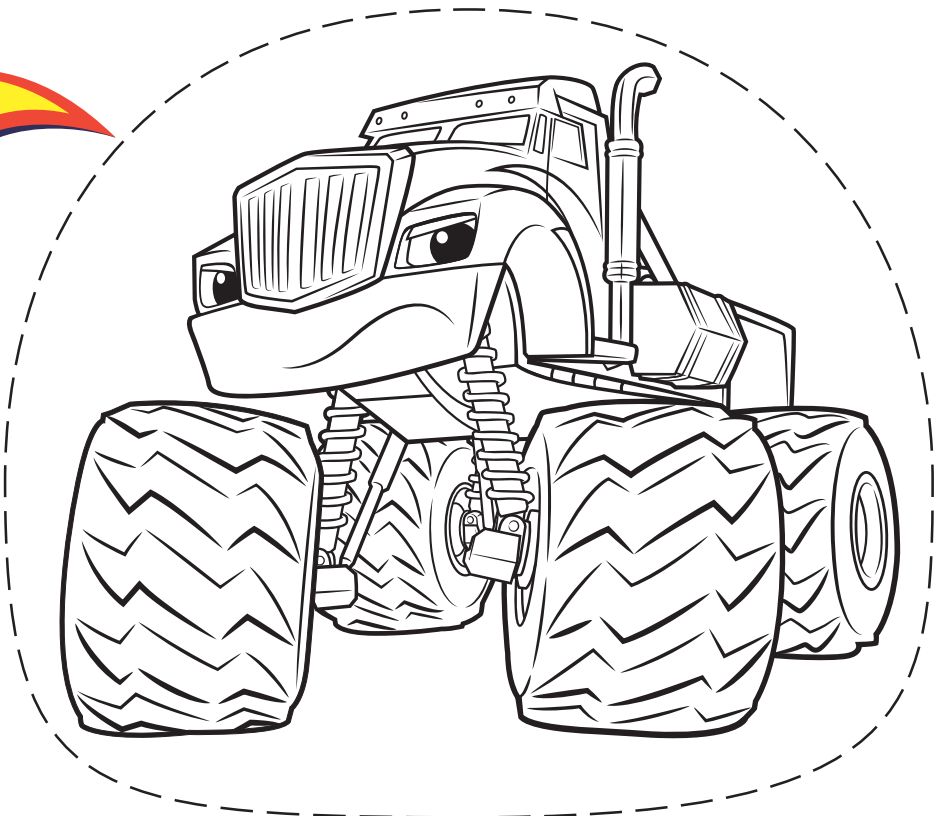






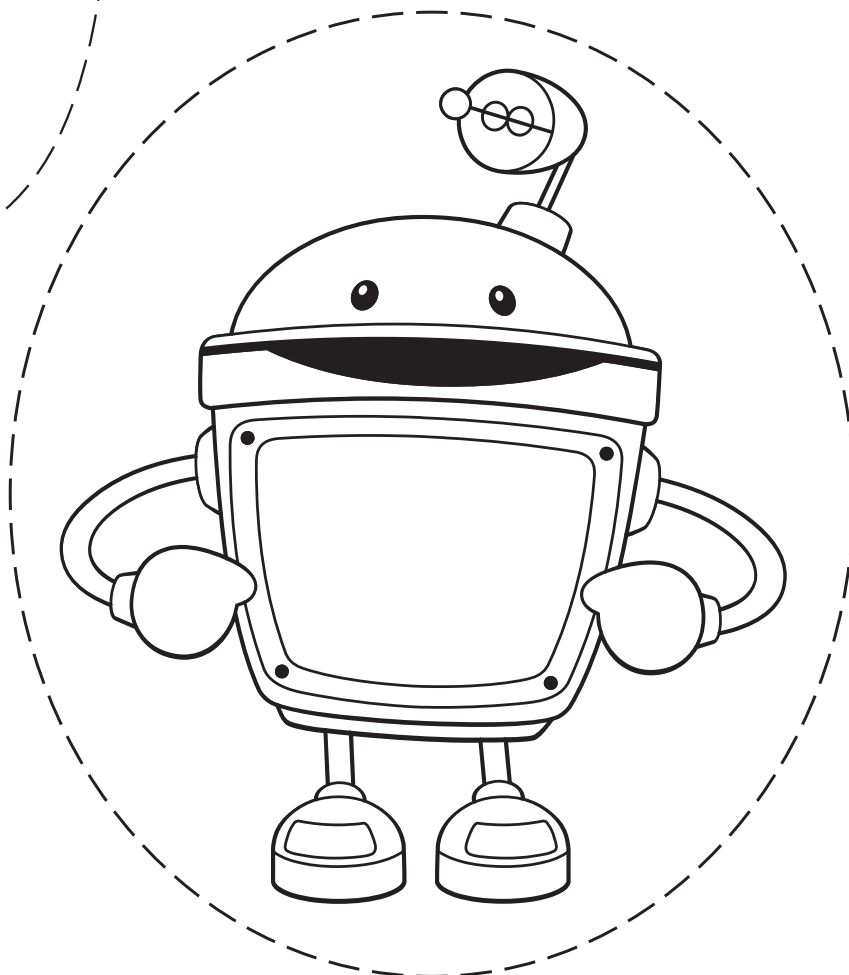
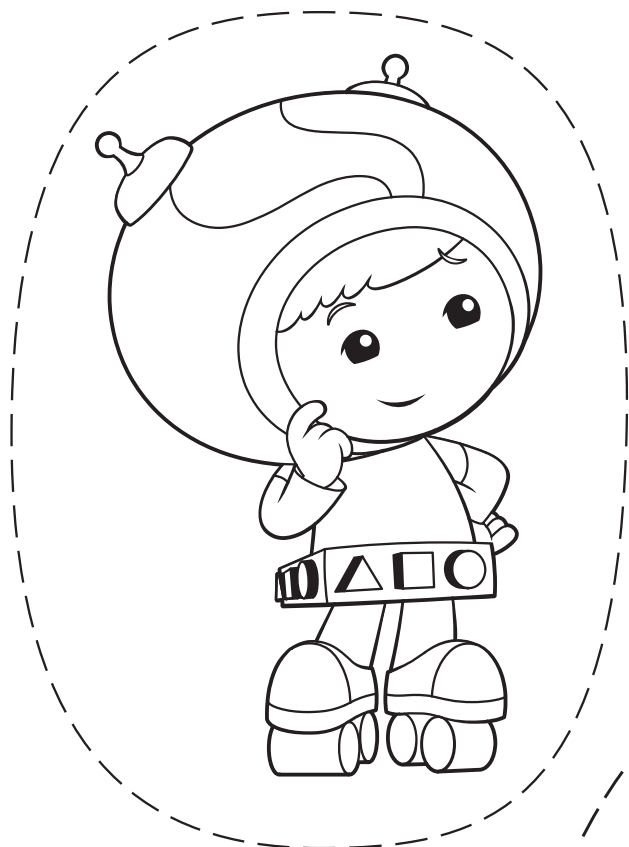
ブレイズ・
モンスターマシーン
きりぬき

このページを厚紙に貼り、お子様に色を塗ってもらいましょう。キャラクターを切り抜いて、アイスの棒やお箸を取り付けければ、人形劇ができます。



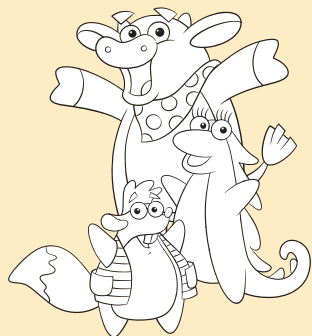
みんなのウミズーミ きりぬき

このページを厚紙に貼り、お子様に色を塗ってもらいましょう。キャラクターを切り抜いて、アイスの棒やお箸を取り付ければ、人形劇ができます。



My Book Report

どくしょのきろく

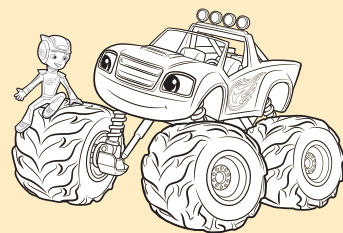
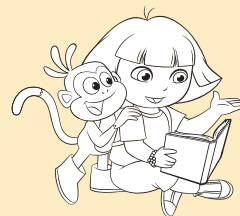


Name

なまえ

Book Title

本のタイトル



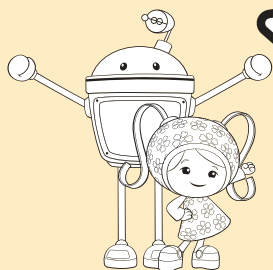
My Favorite Character

好きなキャラクター

My Favorite Page

好きなページ

My Rating この本は星いくつ？



You're a reading star!

きみはReading Starだ!

